



日本証券業協会
Japan Securities Dealers Association

IOSCO協力会員諮問委員会（AMCC） 中間会合の様様について



2023年4月18日
日本証券業協会

AMCC中間会合の概要

1) 開催日 2023年3月22日（水）

2) 開催方法 ウェブ開催（Webex）

3) 参加者 約80名

4) 今回のポイント

（会合の概要）

- 本年のAMCC（※）の中間会合では、①IOSCO首脳による主な取組事項の説明、②主なIOSCO委員会の進捗報告、③AMCCの先行きの取組方針にかかるディスカッションが行われたほか、AMCCの新メンバーの紹介があった。

（※）本協会は、IOSCOの協力会員として、自主規制機関等が参加している協力会員諮問委員会（AMCC）に参画。

－ なお、本年のIOSCO総会/AMCC年次会合は、タイ（バンコク）にて6/13～16日に開催予定。

（IOSCOの主な取組事項について）

- 具体的なトピックとしては、引き続き①**サステナブルファイナンス**、②**フィンテック**、③**ノンバンク金融仲介（NBFI）**が重点項目。
 - **サステナブルファイナンス**関連では、**サステナビリティ開示基準の承認**に関する提言を第2～3四半期に予定しているほか、**保証への取組方針**に関する報告書を近日中にとりまとめ予定（その後、3月28日に公表）。
 - **フィンテック**関連では、①**暗号/デジタル資産（CDA）**、②**分散型金融（DeFi）**の両テーマについて、**市中協議文書を本年6～7月に公表予定**。
 - **NBFI**への対応については、**流動性リスク管理**に関する近年の各国における取組みのレビューを継続。その際には、最近の欧米における一部銀行の破綻等の状況も踏まえつつ、FSBとも連携していく方針。
- 新規の取組課題としては、**プライベートエクイティ**、**顧客取引の事前ヘッジ**、**レバレッジローン関連の証券化商品**などが挙げられている。

会合の詳細

参考) IOSCOの組織・概要等

AMCC中間会合の詳細①

IOSCOリーダーシップ・セッション（主な取組課題、進捗アップデート等）

- Jean-Paul Servais, IOSCO代表理事会 議長 / ベルギー金融サービス市場局（FSMA）委員長
- Martin Moloney, IOSCO事務局長

- 前日（3/21日）に開催されたIOSCO理事会での議論を踏まえ、IOSCOの2023～24年の作業計画を公表予定（その後、4月5日に公表）。カバーされている主な分野は、①金融の強靱性・効率性への貢献、②投資家保護、③証券規制の整備（暗号/デジタル資産等）、④規制上の協力の推進など。
- 具体的な取組課題としては、新たなものはさほど多くなく、**サステナブルファイナンス、フィンテック、ノンバンク金融仲介（NBFI）**が引き続き重点項目となる。今後2年間は、近年取り組んできたこれらのテーマに一定の区切りをつけることに注力していく方針。
 - **サステナブルファイナンス**については、国際サステナビリティ基準審議会（ISSB）によるサステナビリティ開示基準が本年最終化されることから、2023年第2～第3四半期にはIOSCOとして承認の可否に係る提言を行うことになる。また、サステナビリティ関連情報の保証枠組みの構築に向けたアプローチや他の関係機関との連携について近日中に報告書をまとめる予定である（その後、3月28日に公表）。
 - **フィンテック**については、2021年7月の公表のとおり、暗号/デジタル資産（CDA）、分散型金融（DeFi）について、市場のインテグリティと投資家保護の両面からそれぞれ検討を行ってきており、本年央にも市中協議文書を公表予定。
 - **NBFI**については、今年、FSBにおいて2017年に公表した流動性管理ツールの政策提言の実施状況にかかるレビューを実施しているが、検討に際しては、最近の欧米における一部銀行の破綻等の状況も踏まえつつ、FSBとも連携していく。
- また、**リテール市場の投資家行動の変容**に対応するための規制上のツールキット等を示したタスクフォースの最終報告書を近く公表予定（その後、3月30日に公表）。
- このほか、メンバーの包摂性を高め、透明性と説明責任を果たすため、**外部とのコミュニケーション**を強化する方針。
- 今後の作業計画における新たな事項はさほど多くないが、**プライベートエクイティ、プリヘッジ（※）、レバレッジローン関連の証券化商品（CLO）**等に取り組んでいく予定である。

（※）顧客から見込まれる取引に対して、リスク管理を目的として行うヘッジ取引

AMCC中間会合の詳細②

サステナブルファイナンス

- Nandini Sukumar, AMCC副議長 / 国際取引所連合 (WFE) CEO
 - Raluca Tircoci Craciun, IOSCO事務局 (Head of Growth and Emerging Market and Implementation Monitoring)
- IOSCOでは、サステナビリティ関連の企業開示、保証フレームワークに係る対応の他、グリーンウォッシングのリスクについても検討・対応している。2021年には、資産運用業におけるサステナビリティ実務やESG評価機関・データプロバイダーに関する提言を公表している。
 - 直近では、こうした提言について、自主的な基準設定機関や業界団体におけるグッドプラクティスの推進に注力しており、2022年11月にはCall for Actionのプレスリリースを公表、また、対話の機会を持つ等して、行動喚起を促している。
 - 一層のグッドプラクティスの推進のために市場参加者との積極的な対話を重視しており、AMCCのタスクフォースからは9月中旬までにグッドプラクティスについてのフィードバックをいただきたい。

フィンテック

- Tuang Lee Lim, フィンテックタスクフォース議長 / シンガポール金融管理局 (MAS) アシスタント・マネージング・ディレクター
 - Damien Shanahan, IOSCO事務局 シニア・アドバイザー (Head of Emerging Regulatory Issues)
 - Joe McCarthy, 全米先物協会 (NFA) シニア・コミュニケーション・スペシャリスト
- フィンテックタスクフォース (FTF) では、暗号資産及びデジタル資産 (CDA) 及び分散型金融 (DeFi) を含めたフィンテック分野の規制上の問題について検討している。
 - CDAに係るワークストリームでは、「同じ活動、同じリスク、同じ規制結果 (Same Activities, Same Risks, Same Regulatory Outcomes)」の原則の下、現在、政策提言のドラフトを作成している。この中には、利益相反、不公正取引、顧客資産の管理、クロスボーダー活動に係る監督上の協力、リテール投資家への対応等が含まれる。
 - FTFでは、2023年6月～7月に、CDA、DeFiに係る市中協議文書を各々公表予定。

AMCC中間会合の詳細③

IOSCO 第3委員会 (C3) のアップデート

- Mhairi Jackson, C3議長 / 英国金融行為規制機構 (FCA) マネージャー

- 第3委員会 (C3、市場仲介者を所掌) では新たにプリヘッジ (pre-hedging、顧客から見込まれる取引に対して、リスク管理を目的として行うヘッジ取引) について検討を始めた。
- プリヘッジは、現状、米国・カナダ等の一部の法域では一定の場合に禁止する規制措置が既に講じられているが、多くの法域では明確な法規制が存在せず、規制上グレーな分野となっている一方、明確な規制のないプリヘッジには、インサイダー取引・フロントランニング等の不正取引、利益相反、顧客の取引情報の漏洩等といった規制上の懸念が生じている。
- C3では、このプリヘッジの問題について、FSB、ESMA等とも協力し、国際的に整合性をとった対応の可能性を探っている。そのほか、フィンフルエンサー、コピートレーディング、デジタルエンゲージメント、CLO等についても他の委員会等とも連携して議論を行う予定。

AMCCの2023年における活動予定

- Karen Wuertz, AMCC議長 / NFA SVP
- Joe McCarthy, NFA シニア・コミュニケーション・スペシャリスト

- AMCCでは、これまでもサステナブル・ファイナンス、サイバーセキュリティ、リテール市場の課題、市場分断、社債市場の流動性等について、IOSCOの関連委員会に対して、データや情報を提供してきている。IOSCOの理事会・事務局では、こうしたAMCCの情報提供の重要性について強く認識されているところ。
- 今後、こうした項目に加えて、本日の会合も踏まえつつ、以下の事項について新たに取り組む予定。
 - C3で検討されているプリヘッジについて、AMCCにおいてもサーベイに参加し、データを提供する。
 - IOSCOのフィンテックタスクフォースが市中協議を行う前に、AMCCのインプットを提供し、合同のラウンドテーブルを開催する。
 - 市場構造の検討にあたり、C2より協力を求められた場合、同様に協力していく。

AMCC中間会合：プログラム

2023年3月22日（水） AMCC中間会合

13:00 – 13:05	AMCC議長及び副議長による歓迎の辞 <ul style="list-style-type: none"> • Karen Wuertz, AMCC議長 / 全米先物協会（NFA） SVP • Nandini Sukumar, AMCC副議長 / 国際取引所連合（WFE） CEO
13:05 – 13:25	IOSCOリーダーシップ・セッション（主な取組課題等） <ul style="list-style-type: none"> • Jean-Paul Servais, IOSCO代表理事会 議長 / ベルギー金融サービス市場局（FSMA） 委員長 • Martin Moloney, IOSCO事務局長
13:25 – 13:45	サステナブルファイナンス <ul style="list-style-type: none"> • Nandini Sukumar, AMCC副議長 / WFE CEO • Raluca Tircoci Craciun, IOSCO事務局（Head of Growth and Emerging Market and Implementation Monitoring）
13:45 – 14:05	フィンテック <ul style="list-style-type: none"> • Tuang Lee Lim, フィンテックタスクフォース議長 / シンガポール金融管理局（MAS） アシスタント・マネージング・ディレクター • Damien Shanahan, IOSCO事務局 シニア・アドバイザー（Head of Emerging Regulatory Issues） • Joe McCarthy, NFA シニア・コミュニケーション・スペシャリスト
14:05 – 14:25	IOSCO 第3委員会（C3）のアップデート <ul style="list-style-type: none"> • Mhairi Jackson, C3議長 / 英国金融行為規制機構（FCA） マネージャー（Asset Management and Funds Policy）
14:25 – 14:45	AMCCの2023年における活動予定 <ul style="list-style-type: none"> • Karen Wuertz, AMCC議長 / NFA SVP • Joe McCarthy, NFA シニア・コミュニケーション・スペシャリスト
14:45	閉会

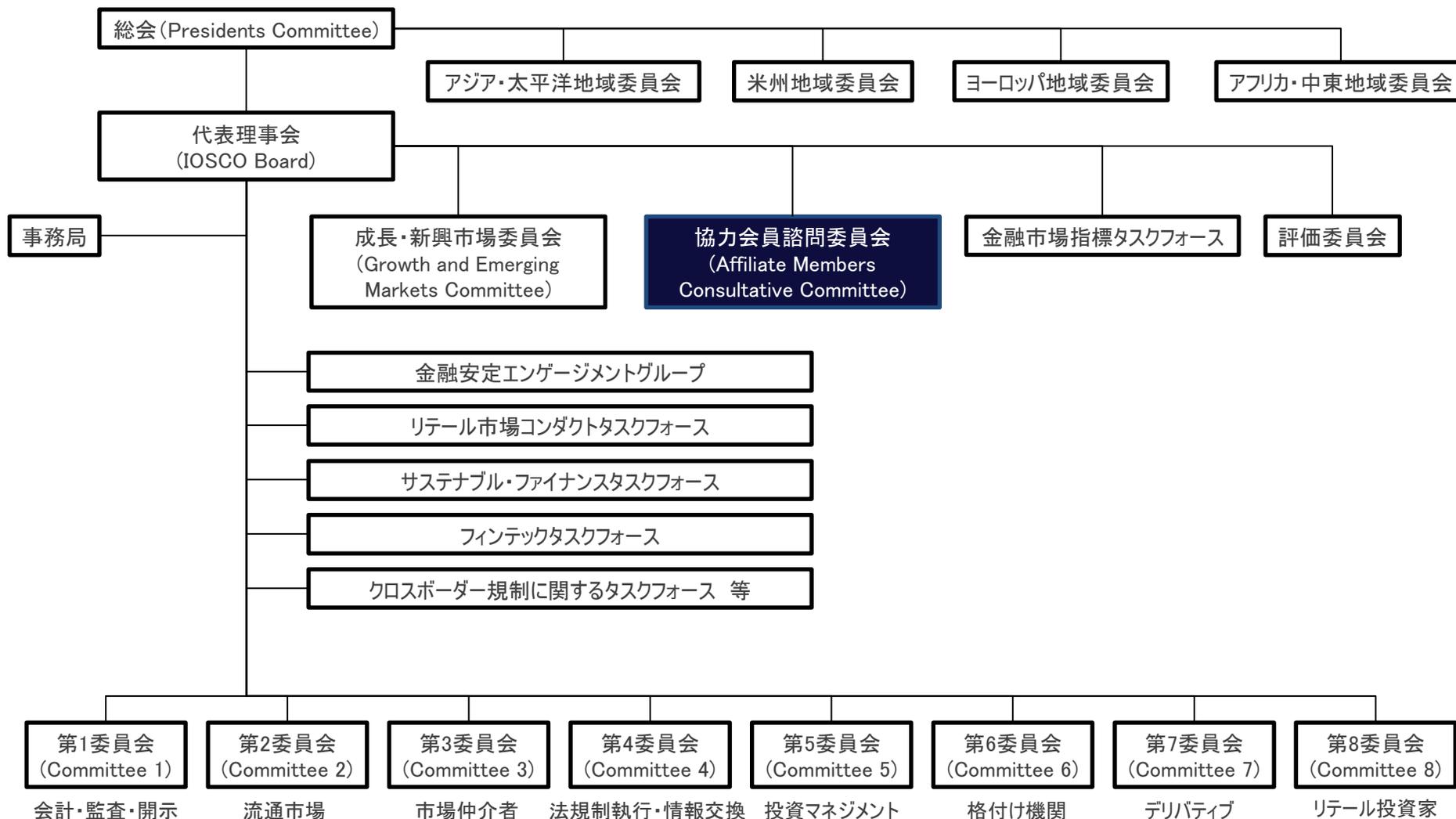
会合概要

(参考) IOSCOの組織・概要等

(参考1) IOSCO/AMCCの組織・概要①

会議名	証券監督者国際機構／協力会員諮問委員会 (IOSCO : International Organization of Securities Commissions) (AMCC : Affiliate Members Consultative Committee)
IOSCOの設立目的	<ol style="list-style-type: none">1. 投資家を保護し、公正かつ効率的で透明性の高い市場を維持し、システミックリスクに対処することを目的として、国際的に認識され、一貫した規制・監督・執行に関する基準の適切な遵守を確保し促進するために協力すること2. 公正行為に対する法執行や、市場・市場仲介者への監督に関する強化された情報交換・協力を通じて、投資家保護を強化し、証券市場の公正性に対する投資家の信頼を高めること3. 市場の発展への支援、市場インフラストラクチャーの強化、適切な規制の実施のために、国際的に、また地域内で、各々の経験に関する情報を交換すること
IOSCOの設立時期	1974年に設立された米州証券監督者協会を母体とし、1980年代以降に欧州・アジア諸国の機関が加盟。1986年のパリ総会において、現在の証券監督者国際機構という名称に改められた。
IOSCOのメンバー	IOSCOのメンバーには、正会員 (Ordinary Member)、準会員 (Associate Member)、協力会員 (Affiliate Member) の区分がある。我が国からは、金融庁、経済産業省及び農林水産省が正会員として、証券取引等監視委員会が準会員として、日本証券業協会及び日本取引所グループ/日本取引所自主規制法人が協力会員として、それぞれ加盟。
AMCCの概要と活動	<p>本協会が加入する協力会員諮問委員会(AMCC)は、1989年に事務局長のイニシアティブにより設置された自主規制機関諮問員会(SROCC)が、協力会員の属性の多様化に伴い、2013年9月に名称変更されたもの。現在、約60の機関が加入している。</p> <p>AMCCの主な機能としては、協力会員としてIOSCOに参加している自主規制機関の知見及び意見をIOSCOの政策委員会の議論に反映させ、グローバルな規制環境の適正な整備に資することや協力会員間の意見交換等。同委員会の会合は通常年2回(IOSCO年次総会時の会合及び中間会合)開催。</p> <p>議長は、全米先物協会(NFA)のKaren Wuertz SVP。なお、2006～2012年の間、本協会が旧SROCCの議長を務めた。</p>

(参考1) IOSCO/AMCCの組織・概要②



(参考2) IOSCO年次総会の開催実績・予定

	年次総会	中間会合及び研修セミナー	
2006年	香港 (6月)	スペイン マドリッド (11月)	中間会合のみ
2007年	インド ムンバイ (4月)	東京 (11月)	中間会合のみ
2008年	フランス パリ (6月)	米国 ワシントン (12月)	第1回研修セミナー
2009年	イスラエル テルアビブ (6月)	英国 レディング (2010年1月)	第2回研修セミナー
2010年	カナダ モントリオール (6月)	ブラジル リオデジャネイロ (11月)	第3回研修セミナー
2011年	南アフリカ ケープタウン (4月)	台湾 台北 (10月)	第4回研修セミナー
2012年	中国 北京 (5月)	トルコ イスタンブール (11月)	第5回研修セミナー
2013年	ルクセンブルグ (9月)	カナダ トロント (5月)	第6回研修セミナー
2014年	ブラジル リオデジャネイロ (9月)	東京 (4月)	第7回研修セミナー
2015年	英国 ロンドン (6月)	スイス チューリッヒ (10月)	第8回研修セミナー
2016年	ペルー リマ (5月)	米国 シカゴ (9月)	第9回研修セミナー
2017年	ジャマイカ モンテゴベイ (5月)	インド ムンバイ (9月)	第10回研修セミナー
2018年	ハンガリー ブタペスト (5月)	英国 ロンドン (10月)	第11回研修セミナー
2019年	オーストラリア シドニー (5月)	スペイン マドリッド (12月)	第12回研修セミナー
2020年	ウェブ開催 (11月)	ウェブ開催 (11月)	第13回研修セミナー
2021年	ウェブ開催 (11月)	ウェブ開催 (6月)	中間会合のみ
2022年	モロッコ マラケシュ (10月)	ウェブ開催 (7月)	中間会合のみ
2023年	タイ バンコク (6月)	ウェブ開催 (3月)	中間会合のみ